

あなたの子育てを応援します！

## 子育て応援コラム

子育て支援ひろばは、妊婦や子育て中の保護者と子供が気軽に集い、仲間づくりができる場所です。保育園やこども園の敷地内や民間の建物内など市内25カ所にあり、子育ての知識や経験を持つスタッフが常駐しています。ぜひご利用ください。

問合せ:子育て支援課 ☎457-2793

### 子育て支援ひろばに行こう！

#### ◆こんなことができます◆

##### 子育て仲間をつくる

保護者同士・子供同士の交流ができます。

##### スタッフに相談する

子育てで困っていることや疑問に思っていることなど、何でも気軽に相談できます。

##### 講座・イベントに参加する

例えば、離乳食・幼児食講座や、年齢が近い子供とその保護者の交流会など、定期的に開催している子育てに役立つ講座や親子で楽しめるイベントに参加できます。

#### ◆子育て支援ひろばを利用したパパ・ママの声◆

初めての出産を控え不安でしたが、助産師さんのお話を聞いて出産のイメージが湧き、落ち着いて臨めそうです。抱っこやおむつ替え、沐浴の練習をさせてもらったのもよかったです。  
(「妊婦さんと家族のための講座」に参加した妊婦と夫)

家に子供と2人きりだと息が詰まってしまうこともあります。ひろばに行くと、他のパパ・ママやスタッフとお話することでリフレッシュできます。子供も、いろいろなおもちゃで遊べて楽しそうです。  
(利用した0歳児の保護者)



**対象** 妊婦や子育て中の保護者と子供(おおむね3歳未満の乳幼児とその保護者) ※中央区広沢三丁目にある「さわさわひろば」のみ、子供の対象年齢がおおむね12歳までです(小学生以上は子供だけの利用も可能)。

**利用方法** 開いている時間内ならいつでも利用できます(無料)。一部、予約の必要な場合があります。詳しくは各ひろばへ直接問い合わせてください。各ひろばの場所や開いている時間、毎月の予定は「子育て情報サイトぴっぴ」で確認してください。

HP▶



## カーボンニュートラルへの挑戦

第12回

脱炭素につながる、豊かで新しい暮らしをしよう！

**地** 地球温暖化を防止するため、市では、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の目標を定めています。3月に定めた新しい目標は、2030年度までに市域全体で2013年度比52%削減(家庭部門では46.6%削減)するというものです。

目標を達成するため、市民の皆さん一人一人が電気や燃料の使用によって排出される二酸化炭素を減らしていくことが必要です。脱炭素につながる行動は、家計や健康にやさしいというメリットもあります。みんなで目標を達成しましょう！

### 家庭で使う電気や燃料(ガス、灯油)から排出される二酸化炭素の削減目標について

#### ★削減目標はどれくらい？



2020年度、市内の家庭から排出された二酸化炭素の合計は946千トン-CO<sub>2</sub>でした。一人あたり年間1.2t-CO<sub>2</sub>を排出している計算となり、これはガソリン520ℓを燃やしたときの二酸化炭素排出量と同じ量になります。省エネ製品の購入・利用や再生可能エネルギーの導入により減少傾向ですが、目標値を達成するため、市では脱炭素型ライフスタイルへの転換を提案します。

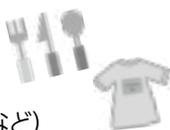
### 脱炭素型ライフスタイルってどんなもの？

例えば...

**衣食住** クールビズ、フードロス削減、省エネ家電、省エネの家(ZEH住宅)

**自家用車** 次世代自動車(電気自動車やハイブリッド車など)

**ごみの削減** 3Rの推進、環境配慮型製品の購入



日頃のちょっとした工夫で、生産や運搬に伴う二酸化炭素の排出量を減らすことができます。あなたも身近なことから始めてみませんか。次月以降の広報はままつで具体的な方法を紹介していく予定です！

カーボンニュートラル推進事業本部(☎457-2502)